

事務事業名		伊那谷の民俗芸能等記録事業【24新規】			会計	一般会計					
課等名		美術博物館			事業種別	政策		開始	24	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり							
		施策	63	地域資産の保存・継承							
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那の民俗芸能・民俗行事			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どうい状態にするか)	1 伝承文化の保存継承 2 伝承文化の価値を広く知らしめる				国指定重要無形民俗文化財(件数)			4件		
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)				国選択無形民俗文化財(件数)			11件		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	映像記録DVD・報告書(種)			1	1	1				
	定性目標										
事業概要	<p>「遠山霜月祭の映像刊行物作成事業」を引き継いで、国指定・選択の民俗芸能・民俗行事について、文化庁の補助を最大限に活用して映像と文字による完全記録を制作し、伝承文化の保存継承に役立てるとともに、その重要性を内外に広く知らしめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「坂部の冬祭り」(国指定) ・「向方のお潔め祭り」「大河内の池大社例祭」 ・「伊那谷のコト八日」(国選択) ・天龍村の霜月神楽映像記録 ・新野の雪祭り <p>* 国指定については1/1補助、国選択については1/2の補助が受けられる。広域の「自立定住圏」と絡めてできないか検討中である。</p>										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	文化庁や長野県と今後の調査事業について相談した。特にコト八日行事の記録と、霜月祭面・人形芝居の頭の有形民俗文化財指定について指導を受けた。遠山霜月祭りを深く理解するためには隣接する天龍村の霜月神楽が重要であるため、その調査研究について天龍村と打合せを行った。				1 協議回数			1 7 回			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		0	0	0	0						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源											
人件費計(千円)②		0		286							
正規職員所要時間				80							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		0	0	286	0						
事業内容・目標達成状況の振り返り	今後の調査活動について文化庁より指導を受けることができた。										
改革改善の考え方	①問題点	飯田市では国指定の遠山霜月祭は一応終了したが、国選択の人形芝居・コト八日が残されている。下伊那郡内には国指定・選択が多いが広域的な取り組みが必要であるが、そのすべがない。									
	②改革提案	南信州広域連合が申請者になって文化庁に補助申請を行う。									